



平成20年 5月12日

会社名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 (東証・大証第一部)
 代表者 代表取締役 社長 福井 秀明
 問合せ先 執行役員 財務部長 小島 眞也
 TEL (06) 6538-7724

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年 2月 8日に公表しました平成20年 3月期 (平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 連結業績予想数値の修正

平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年2月8日発表)	163,000	△ 1,900	△ 3,300	△ 11,300	△ 88.55
今回修正予想 (B)	166,800	△ 1,900	△ 3,100	△ 12,900	△ 101.09
増減額 (B-A)	3,800	0	200	△ 1,600	
増減率 (%)	2.3	-	-	-	
前期実績 (平成19年3月期)	151,371	1,070	33	557	4.37

2. 個別業績予想数値の修正

平成20年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成20年2月8日発表)	70,500	△ 3,000	△ 3,000	△ 9,800	△ 76.79
今回修正予想 (B)	72,000	△ 3,700	△ 3,500	△ 18,100	△ 141.83
増減額 (B-A)	1,500	△ 700	△ 500	△ 8,300	
増減率 (%)	2.1	-	-	-	
前期実績 (平成19年3月期)	78,592	464	1,138	△ 10,353	△ 81.12

3. 修正の理由

平成20年3月期の通期における連結業績予想は、売上高につきましては鉄構部門において海外水門物件の工事進捗の遅れにより約2億円の減少となる反面、鉄管、バルブ部門において出荷量の増加により約11億円、堅調な推移が続く機械部門他で約6億円の増加が見込まれる他、連結子会社における建設部門で約10億円、商社部門で約8億円、化成品部門で約4億円他の増加により前回発表予想を上回る見通しであります。

営業利益につきましては、上記海外水門物件において平成20年度以降に発生が見込まれる原材料価格、海上輸送運賃の高騰部分について引当金処理をおこなったことなどにより約12億円の減益が見込まれますが、鉄管、機械部門の増収による増益が約5億円、連結子会社における建設部門、化成品部門などの増益により前回発表予想とおりになる見通しであります。

経常利益につきましては営業外収支の改善により前回発表予想を上回る見通しであります。

当期純利益につきましては特別利益といたしまして有価証券売却益他として約6億円の増加、また繰延税金資産取崩額の修正として約10億円の見込みである反面、平成20年4月2日に発表させていただきまして有価証券評価損失として約32億円、固定資産ならびに棚卸資産処分損失他で約2億円などが増加したことにより前回発表予想を下回る見通しであります。

なお、個別業績予想における当期純利益につきましては、特別損失といたしまして連結子会社であるクリモトファイナンス(株)から栗本建設工業(株)他への貸付金に対して当社が債務保証を行っており、財務健全化の観点からこの引当金として約60億円計上したことにより前回発表予想を下回る見通しであります。

平成20年3月期の業績実績数値および平成21年3月期の業績予想数値は平成20年5月16日に発表させていただき予定であります。

以上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。